



週)報

2013~2014年度))) R I会長)ロン)D・バートン)
『ロータリーを实践して)みんなに豊かな人生を』
))))))))))第 2570 地区ガバナー)中)井)眞)一)郎)

国際ロータリー
第 2570 地区

狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14)TEL)04-2954-2511
〔事務所〕〒350-1305)狭山市入間川 1 -24-48)TEL)04-2952-2277)FAX)04-2952-2366
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp
会長)栗原憲司) 会長エレクト)稲見)淳))副会長)高田虎光) 幹事)宮野ふさ子

【第 3 グループ内の例会日】 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)
所沢(火)、新所沢(月)、所沢西(水)、所沢東(木)、所沢中央(月)

第 994 回(5 月 27 日)例会の記録

点 鐘 栗原憲司会長
合 唱 手に手つないで
第 2 副 S A A 小澤君、坂本君
卓話講師 NPO 法人 さやま環境ネットワーク
温暖化対策分科会 吉岡雄三様

出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
35 名	29 名	80.65%	87.50%

パスト会長の時間

沼崎正徳パスト会長

今日はパスト会長の時間を戴きましたので、私のルーツについてお話させていただきます。

私のルーツは祖父沼崎栄吉から始まります。

沼崎栄吉の実家は今の狭山市入間川 3 丁目、子の神、喜代川さんの北側にあり、小作百姓の次男として明治 20 年に生まれました。明治 34 年高等小学校を卒業し、開業したての入間馬車鉄道に社長のお茶汲み小僧として雇われました。その後仕事ぶりが社長に認められ、出世したようですが、馬車鉄道そのものの経営が思わしくなく、将来性に疑問を持つようになり、次の仕事を探す毎日だったようです。その頃馬車鉄道の沿線にある牛乳屋が売りに出ていました。その牛乳屋は「ジェルシー農園」と言い、創業者は馬車鉄道の社長と同じ「清水崇徳氏」でした。これを購入したことがその後のストーリーとしての始まりになります。

清水崇徳氏は狭山市水富出身の偉人で、明治 23 年第一回国會議員になった人で、馬車鉄道のみならず、地域の発展に大いに貢献した人です。西武線の前身「川越鉄道」の入間川経由に力を出したり、埼玉りそな銀行の前身「埼玉銀行」の始まりにも、北海道開拓、養蚕から生糸、織布など広く



かわりを持った人です。残念ながら、開業は華々しい割に、商売には運が無く財産を使い果たして最後には入間川の砂利採取などをしていたようです。清水崇徳氏の墓は、広瀬の台地の上に有りその大きな墓石は鉄道馬車のレールに乗る形になっています。

大正 2 年 10 月 1 日が沼崎栄吉による「ジェルシー農園」開業の日になります。その時は清水社長はとくに牛乳搾乳業を手放し、別の債権者の手に渡っていたのですが、入間川の老舗の旦那衆に大いに力を貸してもらい、さらに町の中に有る「立川金物店」の娘を嫁にもらいこれが私の祖母ですが、20 代で経営者に成れたのです。

当時の牛乳屋は今とは違い自ら牛を飼い、搾ってビンに詰め熱殺菌をして大八車に乗せ配達しました。今の様に誰でも牛乳を飲むような時代ではなく、病人が乳の出ない母親の子以外は飲みません。だから非常に貧しい商売で有ったに違いありません。農家は対象にならず、入間川や豊岡の町がお客様だったようでその量もごくわずかでした。

大きな革命は昭和の初めの西武線の電化開通です。それまでは国分寺から川越までの単線でしたが、東村山から高田馬場へ複線電化し、東京へ直通できるようになったことです。高田馬場から都電で日本橋水天宮迄都電が通じ、都心へ荷物が運べるようになったのです。その頃の運び方は運搬人が一斗缶に牛乳を詰め背中に 2 缶、両手に 1 缶ずつ合計 4 缶、72 リットルを運ぶのです。それでも貴重品ですから問屋さんで小分けされ、有名ホテルやデパートの厨房で重宝がられたのです。物量的にはせいぜい運び人 10 人程度で 720L、近隣を合わせても日量 1000L 程度でしょう。それでも物量はずんずん増加し、運搬人も増え、入間川駅で積み込むために広瀬からリヤカーで運ぶ量も多くなり私が生まれた昭和 17 年には、搾乳牛 200 頭日量 3~4000L ほどの規模だったようです。

しかし、戦争がこの商売に大打撃となりました。16 年には私の父、沼崎誠一は南方へ出征、牧夫たちも次々戦地へ送られ、東京はその後の空襲で全

く商売にならない。その上牛を飼育する餌が無いし祖父や母では仕事にならない。牛は特攻隊の訓練基地となった陸軍航空士官学校の卒業生が戦地に向かう前日支給されるステーキの肉として供出することとなり、激減。空になった牛舎は飛行機の部品工場として「中島飛行機」今の「富士重工の前身」が疎開してきて使いました。陸軍航空士官学校とは今の航空自衛隊入間基地のことで、操縦訓練は当初は6か月、最後は3ヵ月で終了でした。

わずか14頭の牛と年寄りの牧夫が終戦時に残り、人の食べ物さえないから牛の餌は無く商売にはならない、堤防や畑の畦道の草刈りぐらいがやっとでしたが、22年復員した父は再度牛の飼育に挑戦、戦前のつてを頼り商売を再開しました。当初は統制経済のもと、自由販売は不可能で、「闇」が横行する状態が、朝鮮戦争による景気で色々なことが可能になり、昭和25年にはオート三輪が、27年には4トン積みのトラックが買え、東京下町の間屋への卸しに加え、新宿へ向かう青梅街道沿いに販売店網が出来ました。近隣は所沢、川越はもちろん大宮、浦和、川口、立川、八王子と商圏も広がりました。酪農家の育成にも注力、自分で飼育していた乳牛を農家に飼ってもらい、搾乳した牛乳を購入する流れもできました。その範囲は荒川の西側、埼玉県入間郡一帯にまでひろがりました、ところが急激に膨張し始めた東京が思わぬ打撃の元になったのです。

牛の飼育は近隣に匂いや汚れを及ぼします。膨張する住宅地にはとても同居出来ないし、急激に値上がりする農地に農家は浮足立ち、酪農業の継続が困難になります。その上大企業が本気で投資するようになり、小企業の存続が難しくなりました。特に狭い範囲で良質の原料牛乳を生産するジェルシーの地盤は絶好の攻撃対象となり農家の切り崩しが激しくなりました。原料供給が困難になった昭和38年、それまで築いてきた商売も先の見通しが立たず、お得意様、従業員に迷惑をかけない限界と言うことになり、私の父は翌年明治乳業に商売をとって代わってもらうことにしました。東京オリンピックの年で私が大学3年の年です。

埼玉明治牛乳株式会社として「明治牛乳」を作る子会社になり、父は専務取締役でしたが社長は明治からの派遣者でかなり軋轢が有ったようです。規模の拡張と生産性向上を目指す乳業としては、沼崎の土地は広さが十分ではないため、現在では牛乳生産はやめにし、セブンイレブンの配送センターを営む(株)フレッシュロジスティックと明治ライスデリカ(株)が活用しています。

私個人は昭和40年大学を卒業し、明治乳業のエンジニアとしておよそ37年間勤務し、父の残してくれた資産、主に土地ですがその上に工場や倉庫を建て、その賃貸業として生計を立てています。ロータリークラブへの入会は2002年、今から12年前、サラリーマンを定年退職してからです。

ついでですが、ロータリークラブは会員相互の理解が大切です。そのためにはお互いが良く知り合うことが大事です。私は今から4年前、会長をやらせて頂いた時に「近隣の仲間と仲良くしよう」と言うクラブ方針を立て、会員のプロフィールを週報に載せて頂くことにしました。全員までは出来ませんでしたが多くの会員の方々に参加して頂きました。近年入会して戴く方が増え、会員相互の理解が薄れるおそれがあります。ぜひ次年度以降、この事に注力して頂きたいと考え、今日私のルーツを話しました。また私自身については週報に書きましたので今回はあえて抜きにしてありますが、これはまたの機会に残しておくつもりです。私は次年度ガバナー補佐の役を仰せつかっておりますが、第3グループの他のクラブにも同じようにお問い合わせするつもりでおります。有難うございました。

幹事報告

宮野幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 6月プログラム承認
- (2) R財団地区補助金申請について
- (3) モンゴル訪問に係る費用について
- (4) 米山記念奨学特別寄付について
 1. 2011年9月RI理事会の抄録について
 2. 次年度役員・理事のお知らせ
所沢東RC 飯能RC
 3. シドニー国際大会について
 4. 受贈会報
所沢西RC 所沢中央RC

ロータリーの森奉仕活動について

先週の土曜日、ロータリーの森の清掃に、私と益子さん、当クラブ米山記念奨学生のウンへさんの3人で行って参りました。全員で150名位の参加で、狭山中央ロータリークラブの木を一生懸命探したのですが、札が雪の時にどうやら落ちてしまったようで、どこを探しても見つからず、地図に書いてあるところから探して大体見てきました。とても大きな樺の木でした。後から違う木に狭山中央ロータリークラブの札が付いていたのがわかりましたので、移してきたのですが、またどこかに行ってしまうといけないなと思いながら掃除をして参りました。



)

「外来卓話」・・・・・・・・

『持続可能な社会を目指して』

NPO 法人さやま環境市民ネットワーク

温暖化対策分科会 吉岡 勇三 様

< 過去から未来に向けて市民が

できるこれからの環境まちづくり >



私は昭和 23 年生まれの団塊世代でございます。生まれは同じく西武新宿線沿線の中井でございます。小さい頃から西武新宿線に大変親しんでおります。高度成長期ですので、当時昭和 30 年代は公害に関する話が沢山ありました。大学は瀬戸内の小さな大学に行き、たまたま高砂市という所を歩いておりました、その時にあまりにも空の状況が酷く、そして匂いも、黒い煙や緑、黄色、赤い煙など、非常に不思議な光景を目の当たりに致しました。

高砂市とは、ホームページで見たところ、創立 60 周年という街なのですが、やはり昭和 29 年位に沢山工業を招き入れたため、そこで一気に公害がでたということだそうです。

私は市役所の職員に様子を聞きに行ったことがございます。その時に 30 歳位の職員の方に、せっかく来たのだからお茶でも飲んで行ってくださいと言って頂き、話を聞きました。なかなか会社に入り込めないようなもどかしさ等、逆に悩みを聞くような話になってしまったのですが、その時に、物づくりをするのであれば、その後始末もしっかりできる技術者になって下さいと言われたことが、その後私の尾をずっと引いているように思います。

最初に入りました会社は、「京都セラミック」という会社でして、そこで物づくりを始めました。その時に、今は経済界の重鎮と言われる稲盛和夫という 38 歳の若社長が、大変血気盛んなころでしたが、物づくりの後の公害処理等がかなりいい加減だったのです。そして工場の中の敷地に大きな穴を掘りまして、そこになんでもかんでも廃棄物をいれていたといった状況でした。その時、あまり言う人はおりませんでした。若造の私は平気で稲盛さんとやり合いました。とにかく稲盛和夫さんという人は、宴会が好きで毎週のように仕事が終わるとだるまを持って皆にお酒を注ぐといったところがございましたので、そうした宴会の場で、私は生産とその後処理のバランスがもう少し

あっても良いのではないのかという話をしたことがあります。毎週そんな話ばかりしていたものですので、だんだんと私の居場所はなくなり、私は会社を辞め、実家の中井に戻っておりました。その後ホンダの期間工の募集があり、公務員の試験を受けるつもりでしたが、体も動かさなければということで、期間工の募集に応じまして、そこでしばらく溶接工をしておりました。そうしましたら総務課長が私に話しかけてきまして、この会社は面白い、本田宗一郎は面白い人だという話でした。どう面白いのかと言いますと、その課長が、たった今社長にもの凄く怒鳴られてきたのだよと言いました。どういうことかと言いますと、工場の増設の時に井戸水を掘り、工業用水には井戸水を使えばいいだろうと提案した所、本田宗一郎にもの凄く怒られたということです。なぜなら、井戸水はこの町の市民の人が使う水であろう、私たちはお金を出して、水道を買えばいいのだということで怒られたということで、この話から、私は本田宗一郎に大変興味を持ち、なぜかその場で入社をしてしまいました。

その 1~2 年後、当時マスキー法という法律が作られました。これは CO やハイドロカーボン、ノックス等を現状の 1/10 にしようという大変厳しい法律で、これをアメリカのビック 3 もトヨタ、ホンダ、日産も出来るわけがないというところでしたが、たった 1 人、本田宗一郎はできると言い切り、私たちは鳥肌が立つくらい嬉しいニュースでございました。それ以来私は本田宗一郎に惚れまして、ホンダの中で、車の中の部品の軽量化という生産技術を 30 数年やってまいりましたが、なぜか色々な意味で、環境との関わりを持っていただけです。

ちょうどその頃、国連人間環境会議等、世の中少し危なくなったといったようなことが言われ始めました。これは日本人が非常に関わりをもった組織であったと聞いております。その後環境庁というもののでき、第一次石油ショック、第二次石油ショックというものが津波の如くきて、このままでは危ないということが言い始められました。そして原発だったら良いといっている最中に、スリーマイルやチェルノブイリといった原発事故が起こりました。

1992 年に利用宣言ということで、この環境人間会議からおよそ 20 年経って、世の中を本気でなんとかしなければならぬといった動きがありました。その頃日本では公害基本法から環境基本法に変わったタイミングです。

その後 ISO14001 や京都議定書が採択されました。京都議定書とは 1990 年の現状に対して、2012 年までに CO2 を -6% にしようというものです。最近では IPCC5 次報告等の環境イベントがございました。-6% という言葉が一時大変な話題となりましたが、1990 年 12.61 億トンを基準とし、2010 年 13.43 億トンの温室効果ガスが輩出されておま

す。どう考えましても、どこで努力をしたのだろうという結果です。では京都議定書は一体どうなったのだろうかということですが、あまり話題にならなかったニュースだったように思います。なぜか京都議定書の約束は果たされておりまして、それは 2009 年にリーマンショックがございまして、この時に日本の生産が全て半分以下になったという状況がありました。特に工場の閉鎖は大変酷く、これが非常に効いているのですが、2008 年から 2012 年までの平均値ということになりますと、12.78 億ト、これが実抑止だったわけです。そして日本の場合、森林が非常に多いので、その吸収源として-0.47 億ト、京都メカニズムクレジットというものがあって、-0.75 億ト、こちらを差し引きすると、11.54 億ト、これで -8.4%となり達成できたという訳です。

京都メカニズムとは、お金で CO₂ を買って来たわけですが、私が試算した結果なのですが、だいたいユーロ圏での CO₂ の取引価格が決まっております、高い時は 35 ユーロ、安い時で数ユーロ、平均で 18 ユーロ位と致しますと、13.6 億ユーロ（1700 億円相当）が支払われたらと、私は試算しております。

どういった所が一番頑張ったのかといいますと、産業界が一番頑張ったのではないかと思います。それから自動車関係の運輸部門も、当初は大型車が掛け声とは別に、2~3 クラスの車が非常に多くなりましたが、最近は車嫌いや若者の車離れもありまして、軽自動車が増えております。あるいは省エネタイプやハイブリット車も増え、だんだん下がってきているという状況です。逆に増えてきているものは、業務部門や家庭部門です。製造業は第一次石油ショックや第二次石油ショックの時に、日本の企業は大変な努力をしております、ちょうど努力をし終った時に京都議定書の約束を無理やりに突きつけられている部分がありますので、そこから先更に 6%を減らすことは非常に厳しい状況だったようです。努力よりも景気や海外移転による影響の方が大きかったようです。

民生部門も上り調子になっておりますが、家庭の場合は省エネ機器、家電を買い替える、LED や太陽電池を付ける家も増えてきており、そういった努力の成果もあり下がる傾向もあります。また単身世帯が非常に増えていることによって、逆にエネルギーは増えておりますが、しかし省エネ効果は大変できてきております。家庭はやはり家電のエネルギーが一番多く、しかしだいたいサチュレートしてきております。家電の中ではカラーテレビやルームエアコンの台数が増えたことが増加要因になっているようです。よくホームエネルギーマネージメントシステム、HEMS 等ありますが、まず皆さんに一番わかり易いことは、色々な電気製品を手で触ってみると、どれが無駄になっているかがわかります。一代前のパソコンとはどこかで熱い空気がでておりましたが、最近のパソコンは

ひんやりしている、またカラーテレビの画面を触ってみますと、やはり液晶はひんやりしております。それは工場でもそうなのですが、工場の配電盤はひんやりしており、実にうまく節電が出来ていると思います。色々なシステムが売っておりますが、まず自分の手で確かめるという方法がございいます。

業務部門に関しましては、延べ床面積が増えているのが学校や卸、事務所・ビルということで、また動力はエレベーターの増加です。省エネが随分と進んでいると思います。

IPCC の第 5 次報告について、IPCC の報告はいつも CO₂ が増えた、より暑くなったと言っておりますが、昨年 9 月 27 日にストックホルム、今年 3 月に横浜、4 月にベルリンでそれぞれ開催されて、結果が報告されております。少し簡単にお話させていただきます。気候変動の要因が 95%の可能性で CO₂、メタン、一酸化二窒素が過去 80 年間で前例にない水準で増加しているということを言っております。また気温が 1880 年から 2012 年で 0.85 上昇しており、海の中の深海で温度が上がっているということが報告されております。だいたい 1 次から 5 次の中の話ですが、3 次報告くらいから温暖化と人間活動の影響が非常に高いと言われ、2001 年は 66%、2007 年は 90%以上、2013 年は 95%以上となっております。データ量、質、定点観測によりデータの信頼度は上がってきているようです。

今回主に変わった所は、将来シナリオというものがありますが、RCP という単位を用いるようになりました。従来は人口、経済成長力、環境対策の度合いなど、不確定要素で推定しておりましたが、数値化をするようになりました。熱を抑える力がどれくらいあるのかということも RCP で表現しております。その他の情報と致しましては、太陽活動の異変がありまして、最近、黒点がなくなってしまうそうです。黒点には 11 年のサイクルがありますが、この黒点が最近出にくい傾向にあるようで、一つは氷河期というものがある、ちょうどこの頃は欧州で飢饉やテムズ川の凍結が起こり、日本では江戸の 4 大飢饉があった時期です。そして今、氷河期にはいるのではないかと言われております。そして問題は、この氷河期が終わった後、また暑くなるということです。

私は 2008 年と 2013 年にドイツに視察に行きましたが、目標が非常に高く、EU は目標が-8%ですが、ドイツは-21%、そして達成状況が-24.7%です。日本との比較を一律にはできませんが、2020 年までに目標値を -40%とし、そのうち電気の再生可能エネルギー比率を -35%と、非常に大きな目標値を掲げております。ドイツの列車に乗ると分るのですが、延々とソーラーパネルが並んでいたり、風力発電が延々と並んでいるところが沢山ありました。そして原発を辞める方向に動いている為、褐炭や石油の利用が増えているようです。

日本とドイツの GDP と GHG（温室効果ガス）の比較となりますが、ドイツの場合、GHG がどんどんと減る一方で、GDP は上がる傾向にあり、この違いとはなんなのかと考えますと、ドイツは再生可能エネルギーで 37 万人の雇用が生まれたと言われております。それは一つの発電所で作るよりも分散して発電する、とにかくいたる所に中小企業レベルの小さな発電所があるということで、それに関わる雇用が非常にあるということです。その雇用によって、経済成長率が上がっているのではないかという見方があると思っております。2013 年の経常黒字は 2600 億ドルで 2 位の中国 1950 億ドルを抜いております。明確な数値目標の提示と目標管理が上手く行っているからではないかと思っております。その他と致しまして、中国、そしてインドも、温室効果ガスの排出量は増え続けるだろうというデータがあります。

狭山環境市民ネットワークについて少しご説明いたします。NPO 法人とは物好きの集まりで行っているような印象がありますが、決してそうではありません。環境基本法の 15 条に、政府は環境基本計画を定めるといった法律を作る、環境基本計画の第一節に、国の役割、地方公共団体の役割、事業者の役割、国民の役割、民間団体の役割を明確にするということが言われております。そして民間団体は、緑化活動やリサイクル活動を住民や事業者、地方公共団体と協力し、環境保全活動や調査、研究活動、環境教育活動等をするということになっております。2003 年に狭山市の呼びかけで市民が集まりまして、狭山環境市民ネットというものを作りました。現在は会員数 173 名、会報「さやか」を年 4 回発行し、環境事業の共同運営をしております。狭山市の環境課と一緒にしております。また環境講座を開いており、環境課の他にも社会教育課と一緒にやっている部分がございます。そして環境ウォークを年 1 回、市民発電所マイタウンソーラー発電所の運営、環境さるんを月 1 回、分科会活動を行っております。4/29 に行われた「新茶まつり」「花いっぱいまつり」を一緒にやらせて頂きました。その他にもリサイクルマーケット、環境月間、新狭山北口スカイロード祭り等では、環境クイズをする等として、細々と環境 PR をしております。1 月には「シェナムの想い」という南ドイツの小さな町が電力の権利を買い取り、今やドイツで 70 万人の会員を持つ、再生可能エネルギーだけの会社の成長記録といった映画を放映致しました。また、川越に住んでいる省エネ達人のお母さんの紹介もさせて頂いております。

環境講座は年に 6~7 回、今私がお話させて頂いていることも、そのうちの 1 つということになります。また歩きながら森の意味を体感するというので、今まで年寄ばかりでしたが、最近若い

学生が手伝ってくれるようになりました。入間川では昔からある地元の地曳漁について子供たちに教えるといったことも行っております。地元の東亜 DKK という会社のスタッフとは非常によいコミュニケーションがとれるようになり、そして最近入間川に生える外来種のアレチウリの駆除活動、エコクッキング、マイタウンソーラータウン発電所の運営もしております。これは小中学生向けに、夏、冬各 1 万人ずつ、年間 2 万人の方を対象にエコチェックをしております。

会員の担い手は、圧倒的に年金を貰っているリタイア組が多いのですが、活動費はできるだけあった方がありがたいですので、もしご協力頂ければ、宜しくお願い致します。そして番外情報ですが、最近アライグマが非常に多くみられるようになっております。埼玉県のアライグマは現在 2000 匹を超えて捕獲される状況ですが、狭山市内のアライグマも非常に増えております。人に危害を加えるものですから、少し困りもので、農作物被害もでております。

)
)
)



- 栗原(憲)君 NPO 法人さやま環境市民ネットワーク理事、吉岡勇三様、ようこそお出で下さいました。卓話よろしくお願い致します。
- 宮野君 さやま環境市民ネットワークの吉岡様、ようこそお出で頂きました。卓話楽しみにしております。
- 稲見君 NPO 法人さやま環境市民ネットワーク理事、吉岡勇三様、今日のお話楽しみです。よろしく申し上げます。
- 古谷君 生活の為、何度か欠席致しました。
- 浜野君 先週、急にお休みして申し訳ありませんでした。
- 沼崎君 今日パスト会長のスピーチをさせて頂きます。また、来年に予定している、第 3 グループの IM 実行委員長を栗原成実さんが引き受けて下さいました。ありがとうございます。

会員誕生祝 古谷君



次の例会

第2副SAA 柴田君 田中(隆)君

6月10日(火) 12:30~13:30

会員卓話 守屋昭夫会員

『征途日記』について(元海軍軍医少佐、辻 達彦氏著)